

情報交換を緻密化し、一步前に出た闘いを！ J R 東海 労 車両技術分科会第20回定期委員会開催！



12月4日、J R 東海 労 車両技術分科会は、名古屋市・牧野コミュニティーセンターにおいて第20回定期委員会を開催しました。石尾副会長が開会の挨拶を行い、山本委員（新幹線関西地本）を議長に選出し、16名の参加者が活発な討論を行いました。

松木会長からは「車両技術分科会の取り組みとして、ブレーキディスクをはじめとした、地道な調査活動の継続、そして、職場での安全問題について、他労組を巻き込んだ議論を技術屋として展開していこう」と挨拶がありました。

質疑では、9名の委員から、ATS-P T導入による車輪フラット多発の問題、作業の標準化問題、技術継承の問題、時系列等報告書の問題、安否確認システム導入に関する問題、ボーナスカット攻撃を跳ね返す闘い、再雇用問題、忌引に関する問題など、職場で発生する様々な問題点について数多くの意見が出されました。

出された意見に対し武富事務長は、「発想の転換をはかり、分科会会員は職場での議論を通じて、一步前に出た闘いを展開していこう」と答弁し、参加者に新たな闘いの決意を訴えました。新役員体制は再任され、第20回定期委員会は閉会しました。その後、場所を移して懇親会を行い、参加者が互いに交流し合い、情報交換を交わし和やかなうちに終了しました。



2011年度役員

会 長 松木 二三雄
(新幹線地本)

副会長 石尾 光春
(新幹線地本)

事務長 武富 克博
(新幹線関西地本)

よろしくお願ひします！